

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア／米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路

往航（2021年6月）1,696,336TEU（26.8%増）（2020年6月：1,338,048TEU）

・《1-6月合計は38.1%増の1,059.7万TEUと、上半期では初の1,000万TEU超え》

復航（2021年4月）564,189TEU（4.1%増）（2020年4月：541,984TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比26.8%増で12か月連続のプラス。2021年6月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比312.3%増の10,020ドル/TEUで14か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.1%増で、2か月連続のプラス。2021年6月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比71.3%増の1370ドル/TEUで14か月連続のプラス。

欧州航路

往航（2021年5月）1,437,250TEU（19.6%増）（2020年5月：1,201,918TEU）

復航（2021年5月）690,986TEU（0.8%減）（2020年5月：696,843TEU）

・《中華地域揚が前年比7.7%減、4ヶ月振りの減少》

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比19.6%増で4か月連続のプラス。2021年6月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比459.7%増の6,660ドル/TEUで13か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比0.8%減で4か月ぶりのマイナス。2021年6月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比22.6%増の1,680ドル/TEUで19か月連続のプラス。

日中航路

往航（2021年5月）740,843トン（4.3%減）（2020年5月：774,371トン）

・《紙類を中心に減少し、統計開始以来5月単月としては最低》

復航（2021年5月）1,741,040トン（1.9%増）（2020年5月：1,708,088トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比4.3%減で3か月ぶりのマイナス。金額ベースでは前年比14.9%増の7,319億円で6か月連続のプラス。2021年6月の横浜-上海間の運賃は前年比22.2%増の550ドル/TEUで7か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比1.9%増で2か月ぶりのプラス。金額ベースでは前年比2.8%減の1兆951億円で2ヶ月連続のマイナス。2021年6月の上海-横浜間の運賃は前年比43.3%増の960ドル/TEUで16か月連続のプラス。

アジア域内航路

（2021年5月）4,077,617TEU（3.9%増）（2020年5月：3,924,557TEU）

- CTS社による集計では、前年比3.9%増となる407.8万TEUで12か月連続のプラス。2021年6月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比76.2%増の1,484ドル/FEUで11か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく

図-1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

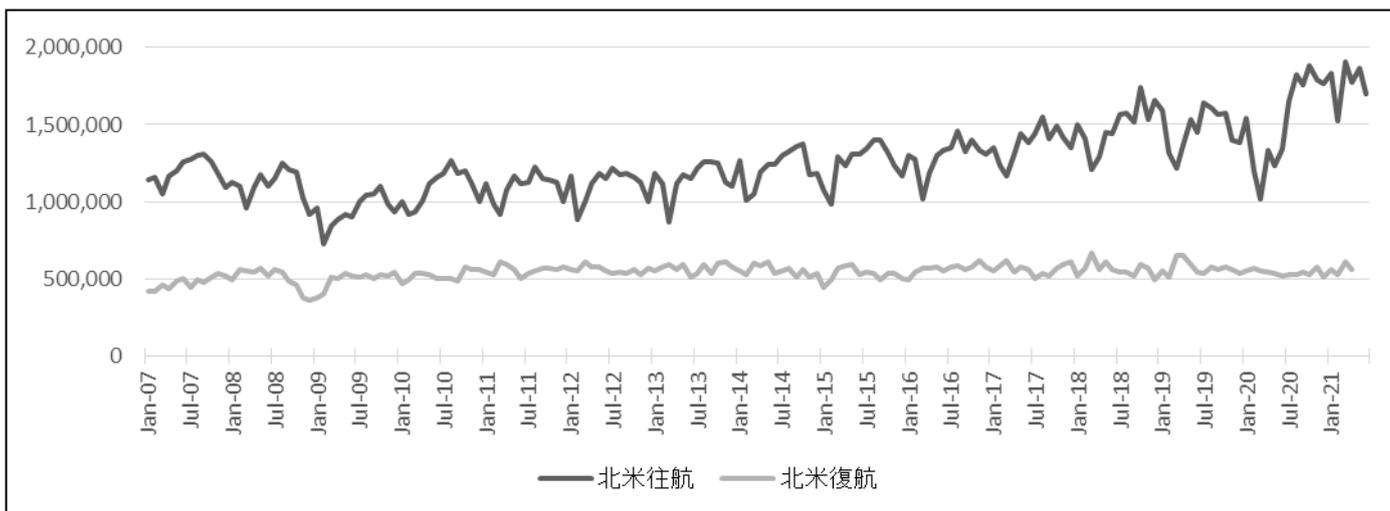


図-2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

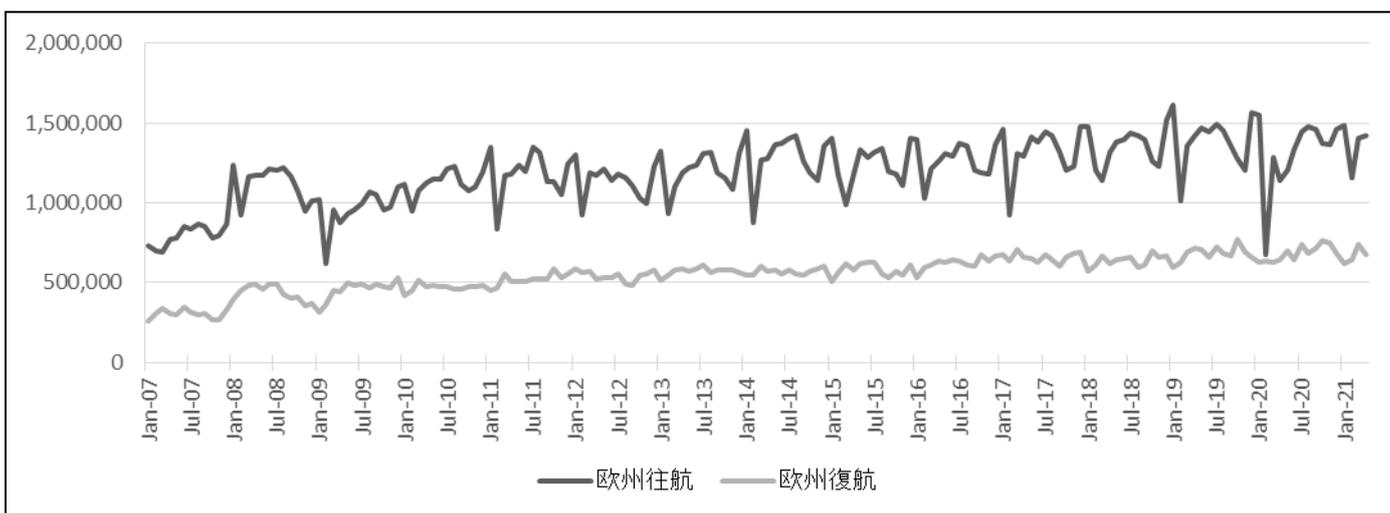


図-3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：トン）

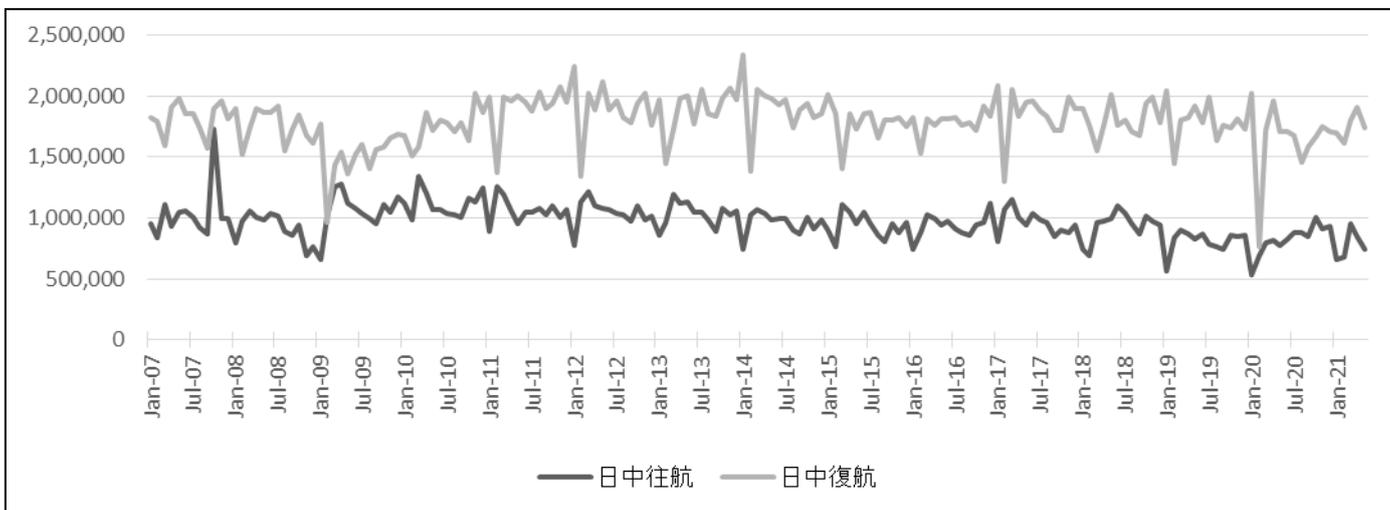


図-4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

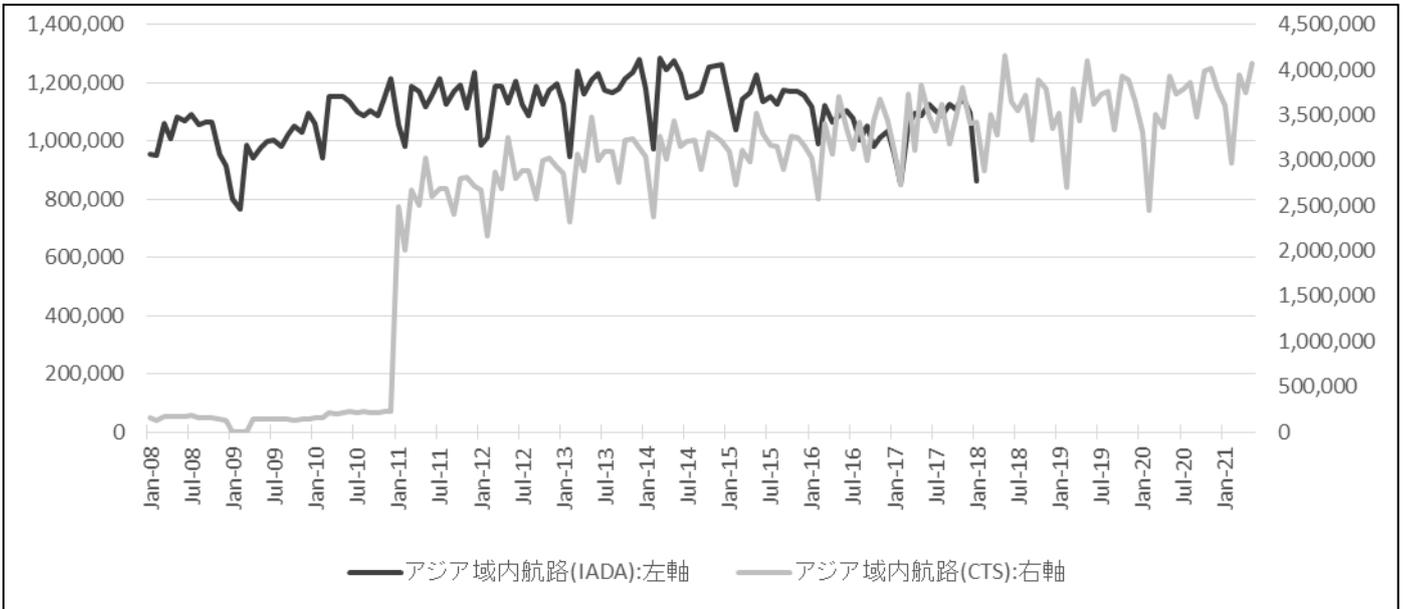


図-5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

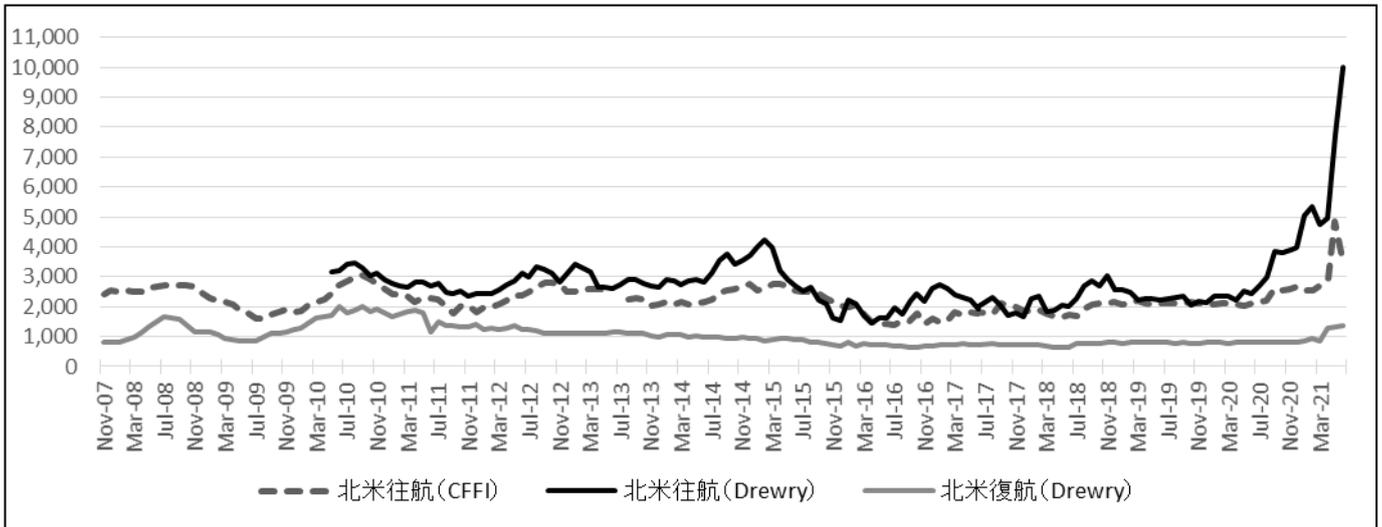
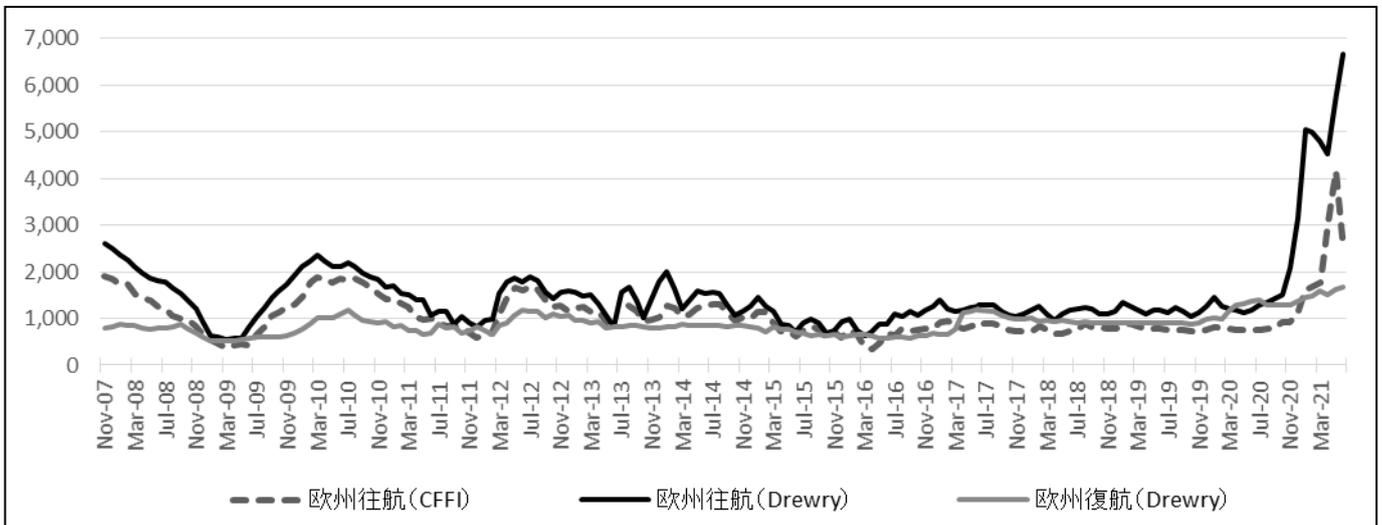
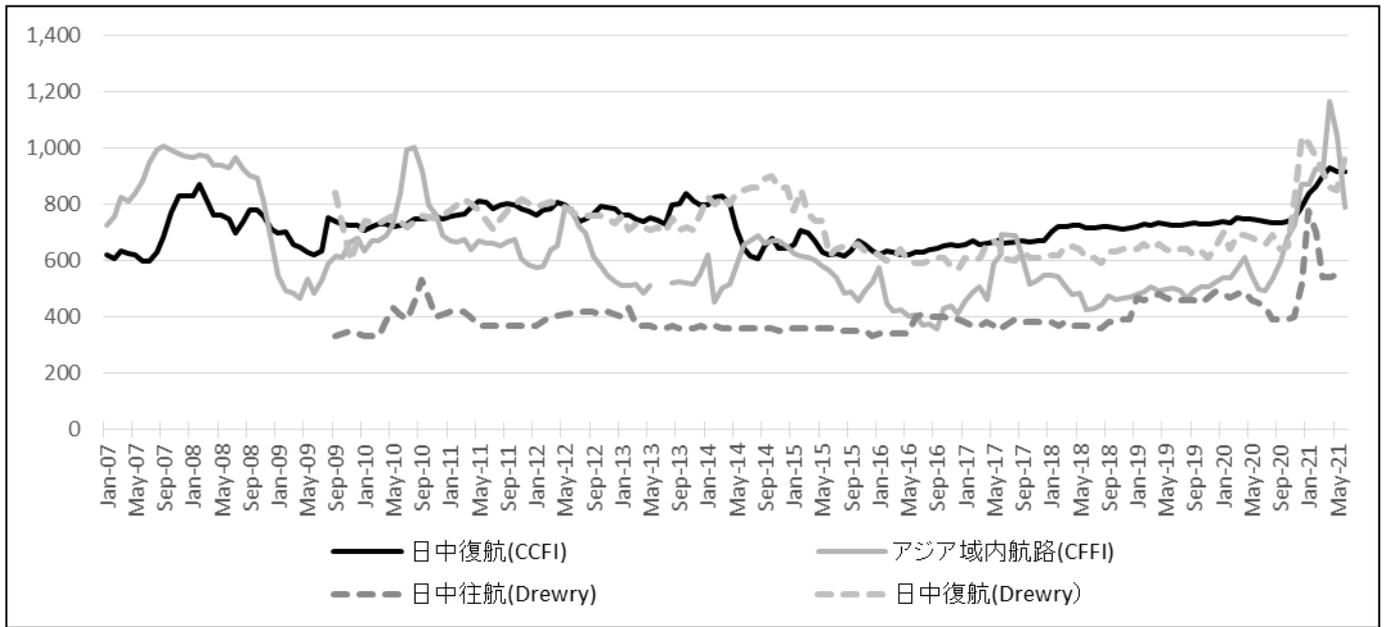


図-6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)



図－7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移（単位：指数（CCFI）、ドル/TEU（その他））



（参考） 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量
 - ・ PIERS（Port Import/Export Reporting Service）データ
- 2.欧州航路輸送量
 - ・ Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量
 - ・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd.（CTS 社）
- 4.日中航路輸送量（トンベース）
 - ・（公財）日本海事センター企画研究部（注：財務省貿易統計に基づきトンベースで推計）
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数（往航では（CI,Drewry）と示した列、復航）
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：南中国（塩田）と米国東岸（ニューヨーク）、英国（フェリックストウ）間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数（（CCFI）と示した列）
 - ・ 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数（毎月）
 - ・ 中国国際海運網ウェブサイト（中国・東南アジア間航路の運賃指数）
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly”（上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数（（CCFI）と示した列））
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight”（中国（上海）と東京/横浜間の運賃）：2014年4月発表の資料より変更**
- 9.BDI（バルチック海運指数）
 - ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”
- 10.円ドルレート
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>